

参加費
無料

オンラインスタディツアー～海外編Part2～ インドネシアから学ぶ 人身取引の現状

2022年 3月 26日 土
15:30～17:30

概要

ILOの2016年の報告によると、世界では4000万人以上が人身取引の被害を受けており、特にアジアでは深刻な問題となっています。WCRP日本委員会は2020年に人身取引防止タスクフォースを立ち上げ、これまでに日本国内における技能実習生の問題やフィリピンにおける性的搾取の問題に取り組み、昨年7月にはWCRPネットワークにおける啓発活動や政府機関、国際機関、NGOとの連携などの行動計画を盛り込んだ声明文を日本政府へ届けました。

人身取引の問題は東南アジア諸国を中心とした越境的課題です。今回のオンラインシェルター訪問では、WCRPインドネシア委員会と共催で、参加者のみなさまと共に学び、労働搾取を防止するための行動を考える機会といたします。

ルマ・ハラパン (GMIT) とは

インドネシアのプロテスタント教会の宗教団体です。地域で人身取引などの女性や子どもに対する暴力事件が多発していることを受けて警察、政府機関、教会、コミュニティと連携し、2018年2月から活動しています。人身取引への主な取り組みとして、ジェンダーに基づく暴力の被害者（女性と子ども）の予防、保護、支援に特化している団体です。

総合司会：小宮山延子（カトリック）

（敬称略）

時間	プログラム内容	※全て同時通訳あり
15:30	開会挨拶	宍野史生（扶桑教 管長）
15:35	ルマ・ハラパンの紹介、労働搾取の問題の概要	
16:00	シェルター訪問	※映像
16:15	被害者のパーソナルストーリー	※映像
16:25	関係者へインタビュー	
17:00	フロアディスカッション	
17:30	閉会挨拶	

参加登録用QRコード

QRコードよりZoomへの登録をお願い致します。



（公財）世界宗教者平和会議（WCRP）日本委員会
〒166-0012東京都杉並区和田2-7-1 普門メディアセンター3F
[TEL]03-3384-2337[FAX]03-3383-7993
[E-mail]rfpj-info@wcrp.or.jp